

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年八月度 入選句（投稿総数二千二百三十四句・小中学投句数千七百八句）

特選

ひがささす母のかげによこ入り 大垣市

大和田 真瑚(小四)

選者 高木 佐知子

夏の昼間、お母さんと外出した時のうきうきした楽しさが、十七音に詰まっています。お母さんのお気に入りの日傘も、この日ばかりは光って見えたのではないでしょうか。下五の「よこ入り」が、この一句を温かくしています。一つの日傘に入ってお母さんに寄りそって歩いている作者は、もちろん笑顔でしょう。夏休みの一日から素敵な一句が生まれました。

夏休みけしごむぜったいつかいきる 大垣市

役田

りゅうき(小三)

楽しい夏休みにはやりたいことがたくさんあります。勉強もその中の一つです。けしごむを使いきると言う言葉に今年もがんばるぞという強い決意が表れています。中七の「けしごむぜったい」が八音の字余りになっているのも決意があふれているようで力強いです。読み手を引きつける言葉の選び方も見事です。みんながやる気になる一句になりました。

水しづき何度もぼくにやじとばす 大垣市

稲川 俊介(小六)

大垣市馬場町にある四季の広場にある造り滝の裏に立ち、水門川に落ちる滝の水しづきを浴びているのでしょうか。細かい水しづきが絶えることなく顔や体にとんでくるのですが、顔をそむけることもなく凜としてそこに立つ作者の姿が想像されます。それを「やじとばす」と表現した下五がニークです。擬人法を活用した技(わざ)の一句です。

秀逸

プールでねはじめておよげとびあがる 大垣市

神谷

神村

咲希(小三)

つばめの子「ご飯まだあ？」と顔を出す 大垣市

大垣市

神村

奏多(小四)

すいかわり一二の三ですなちらす 大垣市

大垣市

神村

咲風(小五)

日傘さし影をつくって一休み 大垣市

大垣市

鈴木

里彩(小六)

友達とあお葉と風とさんぽする 大垣市

大垣市

岩田

崇良(小六)

たきの音自分の声をのみこんだ 大垣市

大垣市

細野

蓮吏(小六)

バーベキューあせも一緒に食べちゃった 大垣市

大垣市

杉浦

ひなた(小六)

くわがた虫もとうとしたらはさまれた 大垣市

大垣市

はぎわら

こう(小二)

野球帽つば埋め尽くす黒い汗 加茂郡川辺町

加茂郡川辺町

志知

尚季(中二)

窓の外雲が西日をおんぶした 加茂郡川辺町

加茂郡川辺町

後藤

蓮誠(中三)

入選

たのしいなヨーヨーつりの夏まつり 大垣市 成瀬 太智(小二)
 七夕にどんなおねがいしようかな 大垣市 山中 ゆず(小三)
 向日葵はみんなどうして同じむき 大垣市 浅野 夏実(小四)
 さくらんぼまっかになってだれ見てる 大垣市 大橋 彩乃(小五)
 くわがたがまい年くるよ一ぴきづつ 大垣市 臼井 美悠貴(小五)
 大西 日夏の一日しめくくり 大垣市 中村 爽音(小五)
 お母さん今日はにっこりつゆ晴れだ 大垣市 神原 心音(小五)
 水たまりつゆ雲りの下顔映す 大垣市 早野 文人(小六)
 青空が梅雨雲の中顔を出す 大垣市 亀石 あおい(小六)
 つゆのバスじゃんけんをしてまけまくり 大垣市 萩永 彩斗(小六)

入選

水馬流れに逆らい戻される 大垣市 只野 琴音(小六)
 川面ゆれ光のかけら夏の川 大垣市 細田 愛海(小六)
 手の上に滝のしぶきがとんでくる 大垣市 台蔵 なほ子(小六)
 川灯台青葉にかくれひっそりと 大垣市 若園 祐暉(小六)
 夏の川ゆうがにおよぐこいの群れ 大垣市 早野 姫菜(小六)
 コイ二ひきおいかけっこ夏の川 大垣市 吉井 優月(小六)
 青葉かげもれた光がぼくつつむ 大垣市 平井 隆吉郎(小六)
 何日も待って実らずトマトの実 大垣市 山本 笑瑚(小五)
 ホームランボールの向こうに雲の峰 加茂郡川辺町 村木 順哉(中二)
 愛犬と秋めく空をさんぽする 加茂郡川辺町 福園 結菜(中三)

選者吟

法師 蝉 細きいのちの唸る声

佐知子